

# 2012年度資金収支決算概要

(単位:千円)

## 資金収支計算書

2012年度における学園の全ての諸活動に対する収入と支出の資金の動きを明らかにした計算書類。企業会計の「キャッシュ・フロー計算書」に相当

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	644,150	686,633	△ 42,483
手数料収入	8,590	10,881	△ 2,291
寄付金収入	200	3,948	△ 3,748
補助金収入	45,105	48,297	△ 3,192
国庫補助金収入	45,000	48,193	△ 3,193
地方公共団体補助金収入	105	104	1
資産運用収入	17,400	18,955	△ 1,555
事業収入	1,950	2,544	△ 594
雑収入	510	23,525	△ 23,015
前受金収入	211,475	249,095	△ 37,620
その他の収入	8,947	13,354	△ 4,407
資金収入調整勘定	△ 211,475	△ 269,616	58,141
<b>資金収入計</b>	<b>726,852</b>	<b>787,616</b>	<b>△ 60,764</b>
前年度繰越支払資金	1,827,567	1,827,567	
<b>収入の部合計</b>	<b>2,554,419</b>	<b>2,615,183</b>	<b>△ 60,764</b>
支出の部			
<b>人件費支出</b>	<b>415,924</b>	<b>415,923</b>	<b>1</b>
専任教員人件費支出	204,641	201,362	3,279
兼任教員人件費支出	19,181	18,700	481
専任職員人件費支出	143,586	143,521	65
兼任職員人件費支出	17,414	16,070	1,344
役員報酬支出	6,000	4,490	1,510
退職金支出	25,102	31,780	△ 6,678
<b>教育研究経費支出</b>	<b>130,277</b>	<b>112,458</b>	<b>17,819</b>
<b>管理経費支出</b>	<b>118,090</b>	<b>109,968</b>	<b>8,122</b>
<b>施設関係支出</b>	<b>97,502</b>	<b>97,501</b>	<b>1</b>
建物	96,236	96,235	1
構築物	1,266	1,266	0
<b>設備関係支出</b>	<b>7,671</b>	<b>5,666</b>	<b>2,005</b>
教育研究用機器備品	3,509	2,546	963
その他の機器備品	2,722	2,307	415
図書	1,440	813	627
<b>資産運用支出</b>	<b>49,535</b>	<b>52,885</b>	<b>△ 3,350</b>
出資金	2	0	2
定期預金への繰入支出	1,800	4,627	△ 2,827
減価償却引当特定資産	15,000	15,000	0
土地取得引当特定資産	30,000	30,000	0
第3号基本金引当特定資産	373	858	△ 485
積立保険金支出	2,360	2,400	△ 40
<b>その他の支出</b>	<b>12,162</b>	<b>20,097</b>	<b>△ 7,935</b>
奨学貸付金	3,150	1,420	1,730
前期末未払金支出	3,447	13,337	△ 9,890
預り金支払支出	5,565	5,340	225
[予備費]	( 25,414 )		
	4,586		4,586
資金支出調整勘定	△ 3,432	△ 35,926	32,494
<b>資金支出計</b>	<b>832,315</b>	<b>778,572</b>	<b>53,743</b>
次年度繰越支払資金	1,722,104	1,836,611	△ 114,507
<b>支出の部合計</b>	<b>2,554,419</b>	<b>2,615,183</b>	<b>△ 60,764</b>
<b>資金収支差額</b>	<b>△ 105,463</b>	<b>9,044</b>	<b>△ 114,507</b>

※下記参照

検定料 児童福祉学科 325名  
専攻科19名 試験料他

特別寄付金(教育環境充実募金他)

受取利息、施設設備利用料

専)介護技術講習会、職員研修他

退職金財団交付金収入他

児童福祉学科 293名他 専攻科19名

預り金(教職員共済掛金等)  
前期末未収入金他

前期末前受金(1年生前期学納金)他

児童福祉学科19名 専攻科 3名

児童福祉学科38名 専攻科 2名

児童福祉学科16名 法人 1名

非常勤職員6名 看護師他5名 他

研究費、教材費、実験実習費他

法人事務費、広報宣伝費他

1号館空調設備取替更新

門扉(芝地グラウンド、農園)

出席管理読み取り装置(教室)  
プロジェクター

短大 419冊 専攻科 12冊

退職給与引当特定資産、出資金からの  
預け替え

定期預金

定期預金

児童福祉学科 7名  
専門学校・専攻科 1名

退職金財団掛金 前年度2、3月分他

私学事業団掛金、所得税他

予備費使用 人件費 25,102  
内 訳 建物 312

期末未払金(退職金掛金2、3月分)、退職金他

※ 児童福祉学科 1年 250/(前)294名、(後)270名 1,340千円 専攻科  
2年 275/(前)270名、(後)266名 1,050千円 1年 20/(前)21名、(後)21名 1,020千円  
留年 0/(前) 1名、(後) 2名

計 2,390千円 計 1,020千円

# 2012年度消費収支決算概要

(単位:千円)

## 消費収支計算書

2012年度における学園の収支  
均衡状況を明らかにし、学園が  
健全であるかを示す計算書類。  
企業会計の「損益計算書」に  
相当。

消費収入の部			
科目	予 算	決 算	差 異
	( 89.7% )	( 86.4% )	
学生生徒等納付金	644,150	686,633	△ 42,483
	( 1.2% )	( 1.4% )	
手数料	8,590	10,881	△ 2,291
	( 0.0% )	( 0.5% )	
寄付金	200	4,013	△ 3,813
	( 6.3% )	( 6.1% )	
補助金	45,105	48,297	△ 3,192
国庫補助金収入	45,000	48,193	△ 3,193
地方公共団体補助金収入	105	104	1
	( 2.4% )	( 2.4% )	
資産運用収入	17,400	18,955	△ 1,555
	( 0.3% )	( 0.3% )	
事業収入	1,950	2,544	△ 594
	( 0.1% )	( 2.9% )	
雑収入	510	23,525	△ 23,015
	( 100% )	( 100% )	
<b>帰属収入合計</b>	<b>717,905</b>	<b>794,848</b>	<b>△ 76,943</b>
基本金組入額合計	△ 30,373	△ 30,858	485
<b>消費収入の部合計</b>	<b>687,532</b>	<b>763,990</b>	<b>△ 76,458</b>

国庫 経常費補助金 45,150  
産業界のニーズ 3,043  
地方 相模原市 104

学校法人の負債とならない収入

・第2号基本金 30,000  
土地(スクールバス駐車場取得計画)  
・第3号基本金 858  
(各種奨学金基金他)  
第3号基本金引当特定資産

消費支出の部			
	( 57.2% )	( 51.7% )	
人件費	410,831	410,831	0
専任教員給	204,641	201,362	3,279
兼任教員給	19,181	18,700	481
専任職員給	143,586	143,521	65
兼任職員給	17,414	16,070	1,344
役員報酬	6,000	4,490	1,510
退職給与引当繰入額	10,483	17,163	△ 6,680
退職金	9,526	9,525	1
	( 26.6% )	( 21.8% )	
教育研究経費	191,267	173,612	17,655
(減価償却額)	( 60,990 )	( 61,077 )	( △ 87 )
	( 17.3% )	( 14.7% )	
管理経費	124,383	116,608	7,775
(減価償却額)	( 6,293 )	( 6,306 )	( △ 13 )
(広報宣伝費)	( 25,509 )	( 22,100 )	( 3,409 )
	( 1.0% )	( 0.9% )	
資産処分差額	7,404	7,403	1
	( 24,642 )		
[予備費]	5,358		5,358
<b>消費支出の部合計</b>	<b>739,243</b>	<b>708,454</b>	<b>30,789</b>
当年度消費収入超過額	△ 51,711	55,536	
前年度消費収入超過額	1,891,592	1,891,592	
基本金取崩額	147,597	232,071	
翌年度消費収入超過額	1,987,478	2,179,199	
<b>帰属収支差額</b>	<b>△ 21,338</b>	<b>86,394</b>	
<b>帰属収支差額比率</b>	<b>-3.0%</b>	<b>10.9%</b>	

退職者の退職金と2011年度末  
退職金要支給額の差額

図書除籍他

予備費使用内訳  
人件費 23,846  
構築物 309  
図書処分差額 487

第1号基本金  
建物、機器備品、図書等の  
除却他

企業の経常利益に相当

**基本金組入額内訳** **30,858**

第2号基本金、第3号基本金

30,858

第2号基本金 30,000 第3号基本金 858

**基本金取崩額内訳** **232,071**

第1号基本金

-232,071

建物 -201,039 構築物 -27,766 教)機器備品 -3,355 その他機器備品 -237  
図書 326



## 2012年度決算書概要説明

### 安定した帰属収支差額

2013年5月25日（土）開催の理事会、評議員会で2012年度決算が承認されました。

決算の概要を説明いたします。学校法人会計の計算書類は、資金繰りの状態を表す「資金収支計算書」、経営状態を表す「消費収支計算書」、財政の安全性を表す「貸借対照表」により表示し、私立学校法第47条及び学校法人会計基準第4条に定められた規則に基づき作成しています。

**資金収支計算書**は、2012年度中の全ての資金の流れを表示した計算書です。資金収入計は787,616千円となりました。これに対し、資金支出計は、778,572千円となりました。よって、2012年度末支払資金（現金預金）は、2011年度末に比べて**9,044千円増加（資金収支差額と同じ）**して、1,836,611千円となりました。

**消費収支計算書**は、当該年度の収入及び支出の経費の均衡状態を表すことを目的にしています。収入の部においては、2012年度は、学生数の異動により学生生徒等納付金収入が前年度比約16,500千円

減収になりました。補助金収入は、文部科学省の大学改革推進等補助金「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」に選定されましたが、国庫補助金は、前年度より12,781千円減額になりました。資産運用収入の受取利息は、世界金融危機以来、依然として長短金利は低下しており、前年度対比では、4,248千円減収となりました。資産運用については、一層の効率のよい健全性と安全性を重視した運用を行います。**帰属収入合計は、794,848千円**となりました。

帰属収入の約86%を学納金に依存しているため、学生数の減少は、本学園の運営に甚大な影響を及ぼすこととなります。帰属収入は、学校法人の純資産を増加させる収入です。この帰属収入から第2号基本金として、2号館（研究棟）隣地取得計画による基本金組入れ30,000千円、第3号基本金として、奨学金基金への組入れ計画に基づく基本金組み入れ858千円を行いました。消費収入の部合計は、763,990千円です。

一方、施設設備が対象である第1号基本金は、1号館のボイラーによる暖房設備を空調設備に取替更新を行ったため、取得価額よりも除却額が上回り、所定の手続きを経て232,071千円の「**基本金取崩**」を行いました。

支出の部においては、支出の大半を占める人件費は、410,831千円で帰属収入に対する人件費比率は約52%になりました。教育研究経費は、173,612千円です。教育研究活動に要する経費全般について効率的な支出に努めました。管理経費は、116,608千円です。法人業務及び管理部門の維持管理運営費の効率的、効果的な支出を図り、経費削減に努めました。消費収入の部合計763,990千円から消費支出の部合計708,454千円を控除した**消費収支差額は、55,536千円の消費収入超過**となりました。また、帰属収入合計794,848千円から消費支出の部合計を控除した**帰属収支差額は、86,394千円の収入超過（前年度対比38,565千円の減収）**でした。

**貸借対照表**は、2012年度末における当法人の資産、負債、基本金、消費収支差額の状態を示すものです。なお減価償却対象資産（建物、構築物、機器備品等）については、取得価額から減価償却累計額等を控除した金額で表しています。資産の部合計は、8,536,809千円です。前受金と退職給与引当金が大部分である負債の部合計489,063千円を控除した純資産総額は、8,044,746千円で前年度に比べ86,394千円増加し、帰属収支差額と一致することとなります。

事務局長 土 橋 正 文